

2015年2月
No.15-036a(本)※5

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、下記項目につきまして検査内容を変更させていただきますので、取り急ぎご案内する次第です。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

■検査項目/変更内容

頁	項目コード	検査項目名	変更箇所	新	旧	備考
42	2291	ヒト癌胎児性 フィブロネクチン	容 器 および 採取方法	容器番号:72 (別掲をご参照下さい。)	容器番号:72	現行試薬販売 中止による後継 試薬および新 採取容器への 変更。

■変更期日

●2015年3月31日(火)受付日分より

以上

ヒト癌胎児性フィブロネクチン

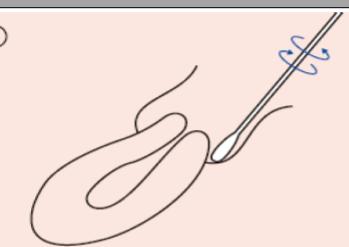
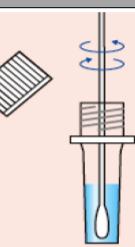
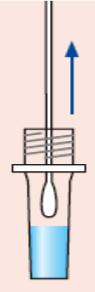
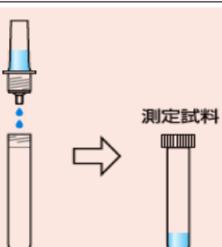
現試薬販売中止に伴い、新試薬に変更いたします。併せて、採取容器および検体採取方法を変更させていただきます。

■新旧二法の相関

		現法	
		-	+
新法	-	28	2
	+	1	23

一致率:94.4% (n=54)
(SRL検討データ)

■新容器形状および採取方法

容器 72	主な検査項目	保存
	ヒト癌胎児性フィブロネクチン	凍結
	採取方法	
	 <p>① 専用綿棒を後庭円蓋に挿入し、約10秒間回して分泌物を吸収させます。 【ご注意】検体採取時に無理な力がかかりますと、綿棒が折れる可能性がありますので、十分ご注意ください。</p>	 <p>② 検体抽出容器の白色キャップをはずし、分泌液を吸収させた綿棒を浸けて、5回程度綿棒を回します。(この際、容器から液がこぼれないよう注意してください。)</p>
	 <p>③ 綿棒を検体抽出容器から引き抜きます。</p>	 <p>④ 検体抽出容器に検体濾過フィルターを取り付けます。</p>
内容 抽出液 貯蔵方法 有効期間	<p>抽出液 室温 1年</p> <p>⑤</p>  <p>検体抽出液の全量を検体保存チューブに滴下し、チューブの蓋を締めて必ず凍結保存してください。</p>	<p>●注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検体の採取は膣洗浄前に行ってください。 ・検体中に精液が混入しているときは、その検体は使用しないでください。 ・検体中に0.1%以上の血液混入が認められた場合、正確な結果が得られない可能性があります。